

四條畷学園 総合ホール



外観

2026(令和8)年に創立100周年を迎える総合学園「四條畷学園」は、記念事業の一貫として、食堂や図書館、体育館などを擁する総合ホールの大規模リニューアル工事を推進。2024(令和6)年にトイレ改修を実施した。



1F 食堂

2024(令和6)年にリニューアルした食堂は、生徒・学生、保護者、教職員、さらにOBやOGといったすべての学園関係者がリラックスし、交流しながら学びを深められる「コミュニティラウンジ」としても機能している。



1F 食堂
手洗いコーナー

食堂の洗面コーナーには、2段のカウンターでドライエリアを設け荷物の置き場所に配慮した、ツインデッキカウンター(ボウル一体タイプ)を採用。非接触で手洗いができる自動水栓を設置し、衛生的な環境を整えている。



2F 図書館

2023(令和5)年にリニューアルされた、明るく開放的な図書館。中央には芝生のある公園のようなスペース、窓際には集中できる学習スペースを設け、思い通りのスタイルや目的に応じて、利用できるようにしている。



中2F トイレ入口



各トイレは、フロア間の階段の踊り場に設置。中2Fには男女別トイレが備えられ、トイレ内への視線配慮と音漏れ配慮の視点から、改修前と同様に入口に扉を設けている。



中2F 男性トイレ
洗面コーナー

洗面コーナーには、シンプルなデザインで水じまいのよい壁掛ハイバック洗面器を採用。水栓金具は、衛生配慮として非接触で手洗いができる自動水栓を設置している。



中2F 男性トイレ
小便器コーナー



小便器は、床の清掃性や節水性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を設置。足元には、光触媒の抗菌・抗ウイルス効果で、菌の繁殖による汚れやにおいの発生を抑えるハイドロセラフロアPUを採用している。



中2F 男性トイレ
大便器コーナー

大便器は、連続洗浄が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。さまざまな身体状況の方への配慮として男女別トイレに、L型手すりを1ヶ所ずつ設置している。



中2F 女性トイレ 全体



階段途中の中2Fに設置しているトイレであることから、採光が取りにくく、空間として暗い印象があったため、木目調に加えてホワイトの配色を多く用い、明るい印象になるような内装としている。



中2F 女性トイレ
洗面コーナー

洗面コーナーには、カウンターとボウルに継ぎ目のない一体形状のカウンター(ボウル一体タイプ)と、非接触で手洗いができる自動水栓を採用。水栓の形状は、デザイン性の高い角基調を選定している。



中2F 女性トイレ
大便器コーナー



貯湯式のウォシュレットPSを採用。リモコンは押すたびに発電し、電源工事や乾電池交換が不要なエコリモコンを選定。チャームボックス(汚物入れ)は、手を触れずにふたが開けられる足踏み式を設置している。



中2F 女性トイレ
広めのブース



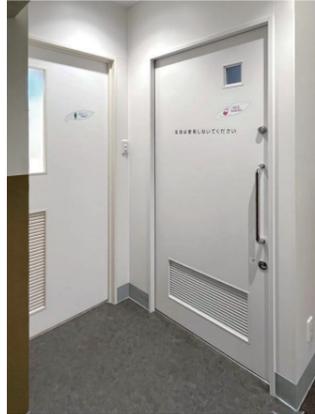
最奥の大便器ブースは、ブース寸法を広めに確保し、ゆったり使用できる広めのブースとなっている。また、お子様連れ配慮として、ベビーチェアを設置している。

四條畷学園 総合ホール



中2F 女性トイレ
スタイリングコーナー

総合ホール5・6Fの体育館では、卒業式の式典などが実施されることなどもあり、生徒・学生のほか、保護者や来訪者を含むさまざまな利用者を考慮。改修を機にスタイリングコーナーを新設した。



中3F トイレ入口

中3Fのトイレは、正面に授乳室、左側に女性トイレ、右側に多目的トイレを配置。総合ホールは、さまざまな用途を持つ施設であるため、幅広い年齢層にも対応できる設備を備えている。



改修前



築46年が経過していたトイレは、洋式便器を設置していたものの経年劣化が進んでおり、かつ湿式清掃であったことから「暗い・臭い・汚い・怖い」といった清潔感や衛生面での課題があったため、学園内のほかのトイレ同様に乾式化を進めることを目的として改修を実施。これを機に、女性トイレは大幅にレイアウト変更。施設が保護者や来訪者など、さまざまな方に利用されることを鑑み、お子連れに配慮してベビーチェアを設置した広めのブースと、中2Fトイレには、身障い配慮としてスタイリングコーナーを新設している。また中3Fには、男女共用の多目的トイレや授乳室を設け、オストメイトや乳幼児連れに配慮した設備を完備して、幅広い年齢層の利用に対応。利用者の満足度に大きく貢献するリニューアルとなった。

水まわりの特長

改修の経緯

学校法人四條畷学園は、1926(大正15)年に「四條畷高等女学校」を前身とし開校。大阪府大東市に位置し、現在は、保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、短期大学、大学を擁する総合学園である。「総合ホール」は1978(昭和53)年3月に竣工。1Fに食堂と柔剣道場、2Fに図書館とラーニングcommons、3Fに特設科和室や高校教室、4Fに音楽研究室、5・6Fに体育館などを有しており、児童や生徒・学生、教職員のみならず、OB、OG、保護者や地域住民の方々も利用する多目的の建物である。学園は、2026年に創立100周年を迎えるため、その記念事業の一貫として、総合ホールの大規模リニューアルを推進。食堂、図書館に続いて、2024(令和6)年にトイレ改修が行われた。

水まわりの特長

築46年が経過したトイレは、洋式便器を設置していたものの経年劣化が進んでおり、かつ湿式清掃であったことから「暗い・臭い・汚い・怖い」といった清潔感や衛生面での課題があったため、学園内のほかのトイレ同様に乾式化を進めることを目的として改修を実施。これを機に、女性トイレは大幅にレイアウト変更。施設が保護者や来訪者など、さまざまな方に利用されることを鑑み、お子連れに配慮してベビーチェアを設置した広めのブースと、中2Fトイレには、身障い配慮としてスタイリングコーナーを新設している。また中3Fには、男女共用の多目的トイレや授乳室を設け、オストメイトや乳幼児連れに配慮した設備を完備して、幅広い年齢層の利用に対応。利用者の満足度に大きく貢献するリニューアルとなった。



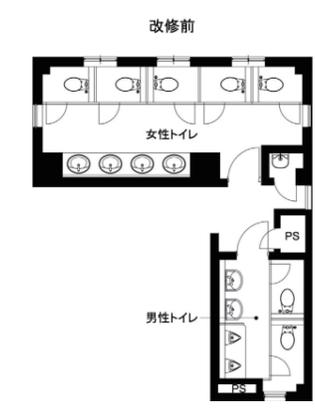
中3F 多目的トイレ

改修前は男性トイレだったスペースを、多目的トイレに改修。オストメイトや乳幼児連れに配慮して、コンパクトオストメイトバックやベビーシート、ベビーチェア、フィッティングボード、幼児用小便器を完備している。

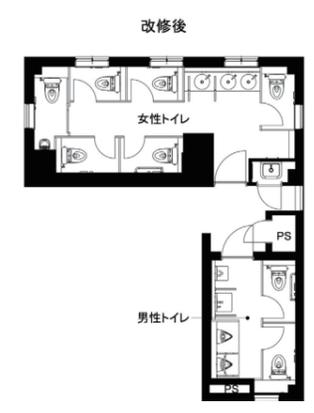


中3F 授乳室

総合ホール1Fの食堂は、水泳教室などを利用する園児・児童の保護者の待合いとして使用される。そのため、乳幼児連れの方の利用も多く、授乳ができる環境を整えるため、改修を機に中3Fに授乳室を新設した。



中2F トイレ図面



女性トイレは、レイアウトを工夫して大便器ブースを5ブースから6ブースに増設し、スタイリングコーナーを新設。男性トイレは、狭小スペースながらも改修前の器具数を確保している。



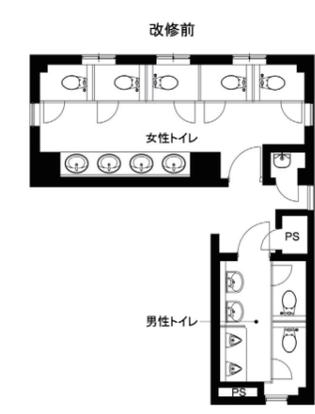
中2F サイン

サインのグラフィックは、学園の樹となっている「クスノキの葉」をイメージしたデザイン。スクールカラーが緑であることから、ピクトグラムなどの配色に緑を採用している。

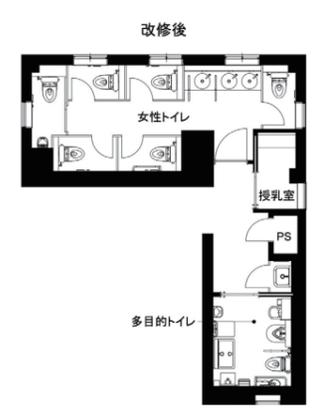


中3F サイン

わかりやすく、ピクトグラムを表示。男女共用の多目的トイレは、性別を問わずに利用できることを示すため、男女のピクトサインに加えてレインボーマークのサインも表記している。



中3F トイレ図面



改修前は男性トイレだった場所を、男女共用の多目的トイレに改修。また、改修前の女性トイレとSKの空間を調整して、授乳室を新設している。

建築概要

名称	四條畷学園 総合ホール
所在地	大阪府大東市学園町6-45
施主	学校法人 四條畷学園
設計	株式会社 阿波設計事務所
施工	岩出建設株式会社
竣工年月	(改修)2024年9月
敷地面積	21,118.33㎡
建築面積	1,318.00㎡
延床面積	6,577.17㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上6階

おもなTOTO使用機器

- パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BMK
- ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5534AEY
- ウォシュレット アプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5841AUP
- 棚付二連紙巻器:YH702
- チャームボックス(汚物入れ):YKB102
- 自動洗浄小便器:UFS900JCS
- ハイドロセラ・フロアPU:AB680BR
- ツインデッキカウンター(ボウル一体タイプ):MKWG
- マーブライトカウンター(ボウル一体タイプ):MC45
- 壁付自動水栓:TENA125A
- 台付自動水栓:TLE25SS1A
- 壁掛ハイバック洗面器:LS125D、LS135D
- コンパクトオストメイトバック:UAS81RDB1NW
- 幼児用小便器:U310GY
- ベビーシート:YKA25S
- ベビーチェア:YKA15S
- フィッティングボード:YKA41R
- パブリック用手すり:T112CL10、T112CL11、T112CU22、T112HK7R、M268N